第三講　動詞(2)／形容詞

★「基本形」と「語幹」

①基本形	②語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
咲く	咲	か	き	く	く	け	け	カ行四段活用
見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用

①「基本形」＝「ない」をつけて、**「ない」の上の音をU段**にする。（「上一段」と「ラ変」以外。）

（例）現代語では「受ける」。古語で「基本形」は？

②「語幹」＝「基本形」－「終止形」の文字

（例）「咲く」－「く」＝「咲」が語幹
「見る」－「みる」＝語幹なし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★終止形が一文字の動詞

来＝　行　活用

す＝　行　活用

得＝　行　活用

寝＝　行　活用

経＝　行　活用

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の漢字の振りがなの中に、不適切なものが一つあります。その記号を示して、正しい振りがなを書きなさい。

年ごろ　ア経（へ）るほどに、…
君があたり見つつを　イ居（を）らむ生駒山…
かの山の中に　ウ居（ゐ）て、言ひいでて…

問二　次の傍線部の動詞の活用の種類として、最も適当なものを後の中から一つずつ選べ。

百年、千年を　a経て見れども、…
いみじくあはれなるは　bあれ。
末の世にとどまるばかりのふしを書き　cとどむべき、とはおぼゆる。
いまだ宮仕へも　dせで里にはべりける折、…
「〜」などこそ　e見えてはべれ。

ア　ア行四段活用　　イ　マ行四段活用　　ウ　ラ行四段活用　　エ　カ行上一段活用
オ　タ行上二段活用　　カ　マ行下二段活用　　キ　ハ行下二段活用　　ク　ヤ行下二段活用
ケ　サ行変格活用　　コ　ラ行変格活用

a＝　　b＝　　c＝　　d＝　　e＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「活用の行」を覚えておくべき動詞九個

- ●射る・鋳る＝　　行上一段活用
- ●**得**(う)・心**得**(こころう)・所**得**(ところう)＝　　行下二段活用
- ●植(う)う・飢(う)う・据(す)う＝　　行下二段活用
- ●老(お)ゆ・悔(く)ゆ・報(むく)ゆ＝**ヤ行**上二段活用

植うず

老いず

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部ａ・ｂ・ｃ・ｄ・ｅの動詞の活用の種類として最も適切なものを、後の中から一つずつ選べ。

事あらむ人は、植うべからぬ草なり。
一人ゐて、物を食ひ…
あちこちねぢむきて、人に見えけり。
よき味方を得たり。
「射る事なかれ」

ア　ア行四段活用　　イ　ア行上二段活用　　ウ　ア行下二段活用　　エ　ハ行四段活用
オ　マ行上一段活用　　カ　マ行下二段活用　　キ　ヤ行上一段活用　　ク　ヤ行下二段活用
ケ　ワ行上一段活用　　コ　ワ行下二段活用

ａ＝　　ｂ＝　　ｃ＝　　ｄ＝　　ｅ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「この事を悔いて、死にたる…」の傍線部の活用の種類を答えよ。

問五　空欄 a 〜 c は現代語では、aは「据える」、bは「出る」、cは「老いる」に相当する。それぞれ最も適当なひらがな一字で答えよ。（歴史的仮名遣いに注意すること。）

われをおとなにす a て、
立ち出 b るほどのここち、
日ぐらし、父の老 c おとろへて、

a＝　　　　b＝　　　　c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用の種類が「四段」と「下二段」の二種類ある動詞→「訳し方の違い」がある。

｛四段＝そのまま訳す
｛下二段＝四段の意味＋「　　　　」

（例）

「入（い）る」
四段＝中にはいる
下二段＝（中にはいらせる→）中に入れる

「立つ」
四段＝
下二段＝

「慰む」
四段＝心が晴れる
下二段＝（心を晴れさせる→）慰める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※特に大事な「二種類ある動詞」

「被く（かづく）」
四段＝かぶる・褒美をいただく
下二段＝かぶせる・褒美を与える

「頼む」
四段＝頼みにする・あてにする
下二段＝頼みに思わせる・あてにさせる

問六　「女房の装束一襲（かさね）かづけ給ひけり。」の傍線部の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　お与えになった　　イ　奪いなさった　　ウ　お作りになった
エ　奉納なさった　　オ　保管なさった

問七　「頼めて」の意味として最も適当と思われるものを、次の中から選べ。

ア　頼りにして　　イ　期待させておいて　　ウ　なんとかして　　エ　ひたすらお願いして

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

形容詞

性質や**状態**を表し、終止形が「～　　」となる。

★活用の種類

「ク活用・シク活用」

※見分け方＝「**なる**」をつける。「～**く**なる」＝**ク**活用、「～**しく**なる」＝**シク**活用。

活用の種類	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
活用	白し	白						
			から	かり	○	かる	○	かれ
活用	をかし	をか	しく	しく	し	しき	しけれ	○
			しから	しかり	○	しかる	○	しかれ

※「　　」には、基本下に**助動詞**がつく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

①　まして**やすからず**。

②　**はかばかしき**後見し**なけれ**ば、…

a＝

b＝

③　散ればこそいとど桜は**めでたけれ**。

④　この妻の**心憂き**こと多くて、…

⑤　いかばかり**あやしかり**けむを、…

⑥　**いみじく**　**心もとなき**ままに、…

a＝

b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の空欄A、Bそれぞれに、形容詞「いみじ」を最も適当な形にして入れよ。

「［A］牛の力かな」

「［B］求めさせ給へば、…」

A＝

B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

①「神主も心得て、大土器をぞまゐらせしに、…」の動詞「心得」の、１　活用の行・２　活用の種類・３　活用形は何か。該当するものを、次の中からそれぞれ選べ。

１　ア　ア行　イ　カ行　ウ　ハ行　エ　ヤ行　オ　ラ行　カ　ワ行

２　ア　四段活用　イ　上一段活用　ウ　上二段活用　エ　下一段活用　オ　下二段活用　カ　変格活用

３　ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

１＝　２＝　３＝

②「早苗を植□、水をせき入れ…」の空所に当てはまる動詞の活用語尾として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

ア　え　イ　ゑ　ウ　へ　エ　う　オ　ふ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の空欄Ｘには「悲し」、空欄Ｙには「はかなし」が入る。それぞれ適切な形を後の中から一つずつ選べ。

起き別れなむことぞ［Ｘ］。

ア　かなし　イ　かなしき　ウ　かなしかる　エ　かなしかり　オ　かなしけれ

末までと契りおくこそ［Ｙ］。

ア　はかなし　イ　はかなき　ウ　はかなかる　エ　はかなかり　オ　はかなけれ

④　次の傍線部について、活用の種類・活用形として適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「せむ方なかりければ、…」（傍線部：なかり）

〈活用の種類〉

ａ　四段活用　ｂ　下一段活用　ｃ　下二段活用　ｄ　ラ行変格活用　ｅ　ナ行変格活用

ｆ　ク活用　ｇ　シク活用

〈活用形〉

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　模範解答

問一　ア／ふ（る）

問二　a キ　b コ　c カ　d ケ　e ク

問三　a コ　b ケ　c ク　d ウ　e キ

問四　ヤ行上二段活用

問五　a ゑ　b づ　c い

問六　ア

問七　イ

問八　① ク活用・未然形　② a シク活用・連体形　b ク活用・已然形

③ ク活用・已然形　④ ク活用・連体形　⑤ シク活用・連用形

⑥ a シク活用・連用形　b ク活用・連体形

問九　A いみじき　B いみじく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　模範解答・解説

〔解説〕

①　「心得」は、活用の行（ア行）を覚えておくべき動詞。「心えず」＝下二段活用。「て」の上は連用形。

②　空欄の上が「植」なので、終止形＝「植う」の動詞。活用語尾＝活用形を考える。下を見ると「、」なので連用形にする。「植う」も、活用の行（ワ行）を覚えておくべき動詞。「植ゑず」＝下二段活用。よって、連用形は「ゑ」なので、正解はイ。

③　X　文末なので、上をざっと見て係助詞の有無を確認。「ぞ」があるので連体形にする。選択肢の中で連体形は、イかウ。下が助動詞ではないため、正解はイ。

Y　Xと同様に上を確認すると、「こそ」があるので已然形にする。よって、正解はオ。

④　「ない」という状態で、現代語で「～い」で終わるから形容詞。古語での基本形は「なし」。「なくなる」となるので、ク活用。「けれ」＝「けり」だが、未学習のため「活用の仕方」で考える。「～かり」は連用形。

〔解答〕

①　1　ア　2　オ　3　イ

②　イ

③　X　イ　Y　オ

④　f・イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。